

**2021 年度 事業報告書 (案)**  
(2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター

## 1. 事業の報告

コロナウイルス感染拡大等の影響から、利用者数や出席率の減少が見られた。その中でも ICT 活用を含む在宅支援等、利用者の個別のニーズに沿った支援の提供に努め、就労をはじめとする各種進路決定に寄与した。

また他機関や関係者等との連携を進め、多角的な利用者支援を行った。

さらに職員間の情報共有システムや研修体制、就業環境等の整備を進めた。

### (1) 就労移行支援事業

#### ①利用者実績

	2021 年度 実績	2020 年度 実績
利用者数 (年間・延べ)	34 人	37 人
利用者数 (3/31 時点)	18 人	21 人
平均利用者数 (1 日当たり)	15.8 人	14.9 人
就労者数	12 人 (うち A 型 2 人)	6 人
見学者数	36 人	34 人
新規利用登録者数/体験者数	15 人/19 人	16 人/20 人

#### ②支援について

- ・ 利用者の個別性を重視し、就労準備性の向上につながる支援を検討・実施、多数の利用者を一般就労等に結び付けた。
- ・ 障がい者委託訓練事業とも連携し、新たな就労先等の開拓を行った。
- ・ 会議をはじめ職員間での連携や共有、意見交換を積極的に行い、各利用者の多角的な理解や支援につながった。

#### ③広報

- ・ 広報紙の作成を行い、医療機関等への設置依頼を積極的に実施。
- ・ コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外部への営業活動が限定された。そのためホームページ、動画、SNS 等を活用した戦略を検討し、その充実を図った。

#### ④プログラム提供における工夫

- ・ コロナ禍において利用者の分散通所や在宅支援等を実施。その中で ZOOM を活用しプログラムを提供する等、可能な限り利用者の継続的・安定的な支援に努めた。

- ・アンケートにより利用者のニーズを把握し取り入れた上で、適宜プログラムの改変を行った。

⑤実地訓練（伊勢おやき、スプラウト、なやプラザ 等）

延べ 48 人が訓練を実施。

継続的な訓練を通して利用者の特性の理解や就業スキル・習慣の向上につながった。

**(2) 就労継続支援 B 型事業**

①利用者実績

	2021 年度 実績
利用者数（年間・延べ）	4 人
利用者数（3/31 時点）	3 人
平均利用者数（1 日当たり）	2.0 人
就労者数	1 人
見学者数	9 人
新規利用登録者数/体験者数	1 人/4 人
平均工賃月額	18,298 円

②支援について

- ・伊勢おやき本舗、トレーニングカフェ Sprout 等の現場と連携。
- ・利用者のスキルや体調等の個別性を重視し、段階的な支援を実施。結果、利用者 1 名を一般就労に結び付けた。
- ・作業を通して各利用者の就業上の習慣・スキルの拡大を行い、安定的な就労の機会や工賃の提供に寄与した。

③商品の製造、改良、開発

商品力を高め、収益向上に向けた取り組みを実施

- ・伊勢おやき・四日市彩サブレの商品づくりと見直し
- ・消費者の意見を取り入れながら、ランチ作りを実施
- ・新商品（プリン）の試作・開発（吉本興業とのコラボ）

④販路の変化

コロナの影響もあり、販売先やイベントが減少し収益に影響。

（主な販売先は生命保険会社、わくわく広場、じばさん、ばんこの里、YMCA、社協売店、その他各種イベント）

他方、サブレの受注販売は多く見られた。

### (3) 就労定着支援事業

#### ①利用者実績

	2021年度 実績
利用者数（年間・延べ）	13人
利用者数（3/31時点）	8人
平均利用者数（1月当たり）	7.2人
新規利用登録者数	7人

#### ②支援について

毎月綿密な情報収集や相談支援を行い、利用者の多くがそれぞれの職場での安定的な定着を実現できた。仕事等についての悩みや困りごとの相談の場として機能した。

一方、体調不良やコロナウイルスの影響により離職となった利用者も一定数おり、数名を就労移行支援事業へつなげた。

#### ③新規利用者の獲得

ユニバーサル就労センターから一般就労をした対象者を、積極的に本事業の利用につなげた。結果、月単位での利用者数が段階的に増加した。

### (4) 生活訓練事業

#### ①利用者実績

	2021年度 実績
利用者数（年間・延べ）	9人
利用者数（3/31時点）	5人
平均利用者数（1日当たり）	3.8人
見学者数	10人
新規利用登録者数/体験者数	2人/5人

#### ②支援について

担当職員間でフォローをし合い、利用者の個別的ニーズを重視した対応や相談支援を実施。体調や通所が安定しない利用者に対し、自宅等への訪問支援を実施し、参加の機会を確保。また正式利用者に限らない通所受け入れを一部行い、本人のニーズを優先した支援を行った。さらに特定相談支援事業とも連携し、4名の利用者を発展的な次の進路へとつなげた。

#### ③広報

広報紙の作成を行い、医療機関等への設置依頼を積極的に実施。

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外部への営業活動が限定された。そのためホームページ、動画、SNS等を活用した戦略を検討し、その充実を図った。

## (5) 特定相談支援事業（ライツ）

### ①利用者実績

	2021 年度 実績
契約者数（3/31 時点）	52 人
新規契約者数	25 人
平均報酬月額	313,424 円

### ②支援について

利用者の障害福祉サービス安定利用に向け、本人の視点に立った相談支援を丁寧に行った。

困難事例に対しても、中立性を重視しながら、事業所や家族等とも連携し課題の解決に丁寧に取り組んだ。

### ③他事業所等との連携

他事業所や機関等との関係強化や新たなネットワークの構築を行い、法人外の利用者の多数受け入れにつながった。

また新規事業所や未連携事業所への訪問等の関わりを積極的に行った。

### ④スキル向上と業務改善

- ・積極的な研修参加を行い、相談支援スキル向上のための研鑽を積んだ。
- ・困難・特殊事例の経験や、その際の一般相談支援事業所への相談・連携を通して、職員の相談支援業務スキルが向上した。
- ・書類様式変更等の見直しを行い、業務を効率化した。

## (6) 三重県障がい者委託訓練事業

43 社開拓。そのうち訓練実施数 12 件、10 人就職。

- ・訓練受託企業等の開拓
- ・制度利用希望求職者の掘り起こし
- ・訓練生、企業、県、ハローワーク、地域若者サポートステーション、就労系障害福祉サービス事業所等との連携
- ・訓練カリキュラムのコーディネート、進捗状況の把握と助言

## (7) 四日市市障害者体育センター指定管理（共同運営）

- ・利用率向上のための工夫の検討、体制や設備の整備・改善

### 【全体事項】

- ・職員配置変更や役割分担等により、事業所運営体制の強化を行った。
- ・6 月よりグループウェア「サイボウズ office」を導入し、利用者情報や各種連絡事項等の共有の仕組み

を確立。利用者像の理解や支援に大きく寄与したほか、職員の業務効率化にもつながった。

- ・基本的な情報共有が事前に行われることによって、理解の基盤が整い、円滑な支援や意見交換、会議進行が実現した。
- ・人材育成のため法人主催で定期的な研修を実施した。また三重県、三重障害者職業センター主催の研修、三重県社会福祉協議会人材育成事業等も積極的に活用し、人材育成に努めた。
- ・利用者 OB 会が発足し、設立総会を実施。今後の卒業生間のネットワーク構築のための基盤整備の補助を行った。

### 【全体の課題】

- ・利用者の就労等の準備性の向上。職員支援スキル向上の他、個別支援の PDCA サイクルをより実効性のあるものにしていく必要あり。
- ・中長期的視野に立った利用者の安定的な確保
- ・恒常的な就労先・訓練先の開拓、ネットワークの構築
- ・職員の労働環境や処遇の改善
- ・移転の検討

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従業者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み(千円)
障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス等の事業	①就労移行支援事業 ②就労継続支援 B 型事業 ③就労定着支援事業 ④生活訓練事業 ⑤特定相談支援事業 ⑥その他の事業 ⑦四日市市障害者体育センターの指定管理(共同運営)	2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	①②③④⑤⑥ ユニバーサル 就労センター  ⑦四日市市障害者体育センター	14 人程度	四日市市及び近隣の障害者等	36,016

### (2) その他の事業

なし